

令和3年第1回北海道議会定例会 一般質問 開催状況 (環境生活部)

開催年月日 令和3年3月12日(金)
 質問者 日本共産党 宮川 潤 議員
 答弁者 知事 鈴木 直道
 東京オリンピック連携推進監 阪 正寛

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>一 知事の政治姿勢について (二) 東京五輪札幌開催等について 1 今夏開催中止を求める声等について</p> <p>朝日新聞の五輪内定選手アンケートでは「練習が制限されている」などの不安が広がっています。練習環境が整わない国や選手のワクチン接種ができない場合があります。現下の情勢で五輪の基本理念であるアスリートファーストが保障されると言えるのか、伺います。</p> <p>選手・当事者からも、今夏開催中止や不安を訴える声が多く、1月25日の朝日新聞の世論調査では「今夏開催」が11パーセントしかいません。知事はこうした声をどう受け止め、どう応えるのか、知事の具体的な行動をお示し願います。</p> <p>2 聖火リレーにおける感染防止対策について</p> <p>組織委員会が示した聖火リレーにおける感染症対策ガイドラインでは、3密回避としながら、無観客とはしていません。</p> <p>ガイドラインの実効性を道独自で検証を行い、組織委員会に進言すべきと考えますが、どう取り組むのか伺います。</p>	<p>(知事)</p> <p>東京オリンピックについてであります。現在、IOCや大会組織委員会では、「オリンピックの本質は競技とアスリートにある」との理念のもと、コロナ禍での安全・安心な大会の開催に向け、選手や大会関係者などの感染症対策に関して、世界陸連や各国の関係団体の方々とも議論を進めているところであります。</p> <p>その中では、国際的な競技大会での感染症対策の実施例なども踏まえ、アスリートの皆さんが安心して大会に参加できるよう、人との接触を最小限に抑えることや、定期的な検査の実施、衛生管理の徹底などに関する具体的な対策が検討されているところであります。</p> <p>道としては、これらの動向を踏まえ、大会組織委員会や札幌市などの関係自治体の皆様と連携しながら、「北海道・札幌マラソンフェスティバル2021」などを通じて、参加者の方々の感染防止や沿道での応援対策などに取り組むことで、大会本番でのアスリートや観客、道民の皆様など全ての方々の安全・安心の確保に繋げるよう、しっかりと取り組んでまいります。</p> <p>(東京オリンピック連携推進監)</p> <p>聖火リレーにおける感染症対策についてでございますが、先月25日に、大会組織委員会が公表したガイドラインでは、3密の回避や関係者の体調管理などの基本的対策のほか、沿道やセレモニー会場など、聖火リレーの場面ごとの対策が示されておりますとともに、各都道府県の感染状況などを踏まえて、公道でのリレーを見合わせるなど、実施方法を変更する場合があることも示されているところでございます。</p> <p>道といたしましては、6月の聖火リレーの実施に向けまして、ガイドラインで示された感染症対策を徹底することはもとより、今後の感染状況や、今月25日から始まります他府県での沿道対策などについて、大会組織委員会や市町村と情報を共有した上で、適切な実施方法について協議していくことにより、聖火ランナーの皆様や地域の方々の方々の安全・安心を最優先として実施できますよう、取り組んでまいります。</p>

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>3 安全な大会開催の根拠について</p> <p>当時の橋本聖子五輪相は「大会期間中1万人程度の医療スタッフ確保」としているが、日本医師会の中川俊男会長は「受け入れ可能ではない」と表明している。</p> <p>知事は五輪開催に伴う医療体制についてどう認識しているのか。このような現状でも安全な大会開催が可能とする根拠について改めて伺う。</p> <p>【再質】</p> <p>一 知事の政治姿勢について</p> <p>(二) 東京五輪札幌開催等について</p> <p>1 今夏開催中止を求める声等について</p> <p>知事の答弁は、五輪選手や関係者、国民の多くが感じている不安に何ら応えてはおりません。知事は、選手や当事者がどんな思いで声をあげているのかご存じでしょうか。</p> <p>水泳の萩野公介選手は「五輪は開催されなくてもいい。人の命が何よりも最優先。それに勝るものはこの世に存在しない」、日本五輪委員会の山口香理事は「国民を置いてきぼりにした前のめりの姿勢は、政治とか経済とか別の理由や思惑があるのだろうと冷めた目で見られている」と発言しています。</p> <p>知事はこうした発言ををどう受け止めますか。重く受け止め、中止も含めたゼロベースから開催の是非を再検討すべきではありませんか。</p> <p>3 安全な大会開催の根拠について</p> <p>コロナ感染患者とワクチン接種で医療体制がひっ迫している最中に、五輪の医療確保が必要な医療を圧迫します。具体的根拠も示さず、ただ開催ありきだけでは余りにも無責任と考えますが、いかがか伺います。</p> <p>本道の医療を守る責任者である知事は、五輪開催によって本道の医療にどれだけの影響があるとお考えですか。</p>	<p>(東京オリンピック連携推進監)</p> <p>安全な大会の開催についてでございますが、東京大会の開催に向けましては、昨年12月に、国や大会組織委員会、東京都など関係者が一体となって新型コロナウイルス感染症対策を中間整理として取りまとめたところでございます。</p> <p>現在、大会組織委員会では、この中間整理をもとに、感染者全般に関する情報集約と事態対応等を担います「感染症対策センター」の設置や関係自治体との調整などに取り組み、感染症への万全な対応のための体制構築を進めていると認識しております。</p> <p>道といたしましては、選手の皆様や大会関係者の方々などが安心して大会に参加する上で、けがや病気はもとより、感染症への対応が重要と考えており、大会組織委員会が進めております医療従事者の確保や、選手等の検査、入院療養体制の構築に向けまして、札幌市とともに調整を進めてまいります。</p> <p>(知事)</p> <p>東京オリンピックについてであります。東京大会の開催に関し、アスリートをはじめ大会関係者などからも、期待や不安など様々な声があることは承知をしております。</p> <p>現在、大会組織委員会では、コロナ禍での安全・安心な大会の開催に向けて、選手や大会関係者などの感染症対策について検討を進めておまして、人との接触を最小限に抑えることなど、具体的な対策について、丁寧に説明をしていただくことで、アスリートをはじめ大会関係者の方々や国民の皆様などが抱える不安に添えていくことにつながっていくものと考えております。</p> <p>道としても、大会組織委員会や札幌市などと連携しながら、「北海道・札幌マラソンフェスティバル2021」などを通じて参加者の方々の感染防止や沿道での応援対策などにしっかり取り組み、開催に向けた道民の皆様のご理解を得られるよう努めてまいります。</p> <p>(知事)</p> <p>安全な大会の開催についてでございますが、東京大会の開催に向けて、大会組織委員会が、新型コロナウイルス感染症に対応する体制の構築を進める中で、道としては、感染症の対応に関する情報を提供し、道内の感染状況を注視しながら、本道の地域医療が確実に確保されるよう札幌市とともに調整を進めてまいります。</p>